

お仏壇には“生きる秘訣”がいっぱい

5号

2023年7月発行

仏教大好き職人がお届けする

まごころ3南無阿弥陀仏



もうすぐ「お盆」を迎えますね。帰省するお孫さん、お子さまに会える時。今回は「お盆の由来」「お参りをする子どもについて」のお話です。音羽屋では仏教の教えで「生きるヒント」を、ご先祖さまからは「生きるチカラ」を、お仏壇を通してイキイキした生き方をお届けします！



代表 山縣俊三 (あだ名はヤマケン)

お盆は「逆さ吊り」

「お盆」の由来

お盆はサンスクリット語のウランバーナが盂蘭盆になり、お盆と呼ぶようになりました。ウランバーナとは「逆さ吊り」という意味。お盆は「さかさま」になっていないかを見直す時期！

逆さづりのお母さん

お釈迦様の弟子に目連さんという超能力の持ち主がいました。目連さんの亡くなったお母さんは、自分をかわいがってくれたとっても優しい方。そんな母のことが忘れられない目連さん。母に会いたい！優しくした母は極楽にいるはず。超能力で極楽の世界を探しますが、どこにもいません。まさか…と思って、地獄をのぞいてみると、お母さんは骨と皮にやせ衰えて餓鬼道という世界で逆さ吊りにされていたのです。

過保護は親のわがまま？

実は、目連さんのお母さんはわが子だけをかわいがり過ぎたのです。おいしい物があっても他の子にはあげない。お水を欲しがる子にも分けない。全て目連さんに与えていました。わが子だけを必要以上にかわいがりすぎる。その「欲張りな心」の報い。そのために餓鬼の世界へ落ちていたのです。



ブティックをしていた母とヤマケン少年

「さかさま」になっているかも

母を救いたい目連さん、お釈迦さまに相談をすると「あなたも自分のお母さんだけを救ってほしいと願っていませんか？自分だけという貪りは、お母様とおなじこと。」と言われます。その後、目連さんはお釈迦様から言われた通りに夏の修行僧に食べ物を振る舞い、より多くのご先祖の供養をしました。するとお母さまは、苦しみから解放されたそうです。これは、誰でもいき過ぎると「自分だけ」というさかさまになる心があると気づかせてくれます。僕も夏休みに入るわが子への接し方を見直す機会にしたいと思います。

日本ならではの「お盆」

この逆さ吊りの話と日本が古来から大切に「祖先崇拜」が合ったのが日本のお盆。お盆には自分のご先祖さまだけでなく、多くの人との繋がりによって生かされていることに気付いて「周りへの感謝」が大切なんです。お盆」という字は「お皿の食べ物を分け合う」という意味。今年のお盆はみんなで分け合えるものをお供えしてみてもいいですね。



手を合わせるヤマケン Jr. (長男)

イキイキポイント!
お供え物はみんなでシェアしよう!

◆お仏壇の修理・掃除・洗浄・塗替え・買換え・移動・保管・処分 ◆お仏具・お数珠・寺院関連・おみこし・掛軸などの修復



お仏壇のことでお困りの方
お気軽にご紹介ください!
◆広島県全域対応◆出張お見積り無料



今回の「南無レター」はいかがでしたか？
皆様のご意見・ご感想をどしどしお寄せください。
ご連絡用LINEからメッセージを頂けると嬉しいです！
こちらからどうぞ



お仏壇 音羽屋 検索
広島市中区舟入南3丁目13-1 FAX 082-942-0526
TEL 082-231-3721

ナニNews

お参りをする子は「優しい子」という調査結果が!?



お線香日本一の会社が調査

(株)日本香堂が、全国の中高生1,236名に、お参りという「供養行為」が「優しさ・思いやり」に影響があるかを調査。その結果「お参りが毎回・ときどき・しない」というグループ別で、優しさ・思いやりの指標に顕著な差が出ました。
※仏壇がある家に住んでいる場合は「ほぼ毎日」、家に仏壇が無い場合は「仏壇がある(実家など)に行ったときは必ず」を「毎回」と区分。



悩みを聞く?聞かない?

あなたは、知り合いが悩みを話す時「そんなの知らないよ」と感じますか?

調査では、よくお参りをする子供たちの方が、時々する子やお参りしない子より、他人を思いやる気持ちが強いという結果に！その差は12.7%と、お参りをすることで「人の悩みに関心をもつ子」が1割以上も増えたのです。また、仏事にふれることで「自分と人の違いを理解し共感できる」という子が増えることも分かりました。

脳科学者の研究結果

中野信子氏(脳科学者)が研究をもとに調査結果を解説。お参り、つまり「祈る」ことは未来をよい方向に変えようとする営み。大切な誰かを思うとき、心がその人への愛情にあふれると脳内に「オキシトシン」が多量に分泌。「オキシトシン」は出産や授乳、育児などで分泌される共感・愛情を高める脳内物質。それにより、精神が安定し、自己肯定感と他者への理解・共感性が高まっていると分析しています。



お盆はみんなでお参りを!

お仏壇で定期的に他人に想いをはせるという供養行為の積み重ねが、他人への理解や気持ちを育む効果に。是非、ご家族がお盆に帰省したときは、皆さんでお参りをするきっかけにしてくださいね。そして、普段のお参りも大切。離れて暮らすお孫さんのために「ミニ仏壇」というお参りの場もご紹介します。



納品後にお孫さんとお参りするお客さま

気になる方はお気軽にお問い合わせください。



モダンな雰囲気の人気!

ちなみに...

僕は小さい頃、ばあちゃんに言われて、仏さまのお仏飯をお供えする係でした。そのあとに食べていたお線香の香りがするカリカリのご飯。おかげさまで、優しい...どころかセッカチな性格に。今にも「カリカリせん」と優しくしんさい!というばあちゃんの声が聞こえてきそう... 米だけにマイったな~



ヤマケン少年と祖母(上)



お米

龍岸寺(京都府)

NO "ご"先祖, NO LIFE

今回のテーマに沿ったお寺の掲示板

今回のテーマに沿った